

正味財産増減計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度 <small>(平成28年4月1日～平成29年3月31日)</small>	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(3,345,239)	(3,352,366)	(△ 7,127)
基本財産受取利息	3,345,239	3,352,366	△ 7,127
② 雑収益	(108)	(697)	(△ 589)
受取利息	108	697	△ 589
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,345,347	3,353,063	△ 7,716
(2) 経常費用			
① 事業費	(3,073,722)	(2,682,090)	(391,632)
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	35,757	63,096	△ 27,339
減価償却費	66,528	3,739	62,789
消耗品費	332,575	567,854	△ 235,279
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
支払助成金	640,894	573,723	67,171
委託費	1,992,060	1,466,674	525,386
雑費	5,908	7,004	△ 1,096
② 管理費	(199,188)	(213,847)	(△14,659)
会議費	37,776	38,846	△ 1,070
旅費交通費	3,824	4,664	△ 840
通信運搬費	49,906	49,207	699
減価償却費	84,000	98,958	△ 14,958
消耗品費	19,996	0	19,996
支払負担金	0	19,440	△ 19,440
雑費	3,686	2,732	954
経常費用計	3,272,910	2,895,937	376,973
当期経常増減額	72,437	457,126	△ 384,689
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産受贈益			
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	72,437	457,126	△ 384,689
一般正味財産期首残高	3,244,582	2,787,456	457,126
一般正味財産期末残高	3,317,019	3,244,582	72,437
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産評価益	(3,846,479)	(3,853,606)	(△ 7,127)
基本財産受取利息	3,345,239	3,352,366	△ 7,127
〃 (償却原価法による償却額)	501,240	501,240	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,345,239	△ 3,352,366	7,127
当期指定正味財産増減額	501,240	501,240	0
指定正味財産期首残高	239,301,409	238,800,169	501,240
指定正味財産期末残高	239,802,649	239,301,409	501,240
III 正味財産期末残高	243,119,668	242,545,991	573,677

財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産)	預金	普通預金				
		ゆうちょ銀行	運転資金	195,430		
		ゆうちょ銀行	"	178		
		中国銀行県庁支店	"	2,558,217		
		トマト銀行岡山県庁支店	"	284,054		
		大和ネクスト銀行	"	13,027		
流 動 資 産 合 計				3,050,906		
(固定資産)	基本財産 預金	普通預金				
		ゆうちょ銀行	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	657		
		定期預金				
		大和ネクスト銀行	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	10,000,000		
		ゆうちょ銀行	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	397,000		
		投資有価証券				
		第9回30年利付国債	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	209,470,383		
		第138回20年利付国債	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	19,934,609		
		その他固定資産	什器備品	ノートパソコン	共用財産であり、20%は、公益目的保有財産として、公益事業で使用している。 80%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、管理業務で使用している。	1
				水質測定機器	公益目的保有財産として、公益事業で使用している。	133,056
水質測定機器用ヒーター	公益目的保有財産として、公益事業で使用している。			133,056		
固 定 資 産 合 計				240,068,762		
資 産 合 計				243,119,668		
(流動負債)						
流 動 負 債 合 計				0		
(固定負債)						
固 定 負 債 合 計				0		
負 債 合 計				0		
正 味 財 産				243,119,668		

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
非計上につき未設定。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,397,000	0	0	10,397,000
普通預金	657	0	0	657
投資有価証券	228,903,752	501,240	0	229,404,992
小 計	239,301,409	501,240	0	239,802,649
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	239,301,409	501,240	0	239,802,649

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味残高からの充当額)	(うち一般正味残高からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,397,000	(10,397,000)	(0)	(0)
普通預金	657	(657)	(0)	(0)
投資有価証券	229,404,992	(229,404,992)	(0)	(0)
小 計	239,802,649	(239,802,649)	(0)	(0)
特定資産	0	(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	239,802,649	(239,802,649)	(0)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	74,801	74,800	1
会計ソフト	420,000	420,000	0
水質測定機器	166,320	33,264	133,056
水質測定機器用ヒーター	166,320	33,264	133,056
合 計	827,441	561,328	266,113

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債30年 (第9回)	209,470,383	251,111,880	41,641,497
利付国債20年 (第138回)	19,934,609	23,389,220	3,454,611
合 計	229,404,992	274,501,100	45,096,108

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	3,345,239
合 計	3,345,239